



(2023年4月15日発行)
毎月1回15日発行

かごしま労働者福祉だより 第749号 (1)

かごしま 労働者福祉だより

第749号

[発行所]
(一社)鹿児島県労働者福祉協議会
〒890-0064
鹿児島市鴨池新町5-7-6F
☎099-254-3832

[発行人]
下町 和三

[印刷]
南日本新聞開発センター
[編集]
県労福協、連合鹿児島、九州労金
こくみん共済 coop<全労済>、生協連
☆労福協だより
毎月15日に更新!
鹿児島 労福協 検索

「2023フレッシャーズキャンペーン」スタート!! —夢を叶える自分になる!—

少子高齢化の進行による労働力人口の減少や働き方の多様化、コロナ禍におけるデジタルシフト等、金融機関を取り巻く環境は急速に変化しています。

だからこそ、すべての若い世代に、中でも新社会人に「ろうきん」を知っていただき、ご利用いただくことで、さまざまな良さを実感していただくことを目的に、今年度も「2023フレッシャーズキャンペーン」を実施します。

キャンペーンでは、「ろうきんアプリ」からご応募いただいた方の中から抽選で100名様に「Amazonギフトカード 5,000円分」をプレゼントいたします。

キャンペーン期間は2023年4月1日(土)から12月31日(日)まで、対象者は①30歳未満の勤労者の方、または②30歳以上の2023年度新規採用者の方です。

また、ろうきんアプリメイン口座のご登録、かつ、対象項目のうち、2項目以上を新規でご契約いただいた方を抽選の対象とさせていただきます。

対象項目は、①財形預金(一般・年金・住宅)または

エース預金(エンドレス型・確定日型・年金型)、②iDeCo(個人型確定拠出年金)、③投資信託、④給与振込、⑤カードローン、⑥無担保ローン契約(カードローンおよび普通預金口座貸越除く)です。

ろうきんは、はたらく仲間がつくった福祉金融機関!

まずは、ろうきんで普通預金口座とキャッシュカードを作成、「ろうきんアプリ」をダウンロードして、“いつでも、どこでも、いろいろ、ツカエル!”を実感してください。

また、お金に関するセミナーやご相談を通して、マネープランを生涯にわたり、全力でサポートします。人生の「ライフイベント」に関するご相談は、いつでも、お気軽に最寄りの営業店へお問い合わせください。



こくみん共済 coop SDGsセミナー in あまみ を開催しました!



こくみん共済 coop 鹿児島推進本部は、3月4日(土)奄美觀光ホテルで「こくみん共済 coop SDGsセミナー in あまみ」を開催しました。

当日は35名に出席いただき、こくみん共済 coop におけるSDGsの取り組みについての報告と、助産師の内田美智子さんより講演をいただきました。

内田氏の講演では、「いのちをいただいて、つないで、育むこと」をテーマに、生命が誕生することは奇跡であり、社会の中で子どもを育てていくことの大変さや食を通じて子どもを成長させていくことの大切さが語られました。

参加者からは「命の大切さや、妊娠・出産・子育ての「奇跡」を改めて感じた」などの声をいただきました。

こくみん共済 coop は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念のもとに、今後も「誰ひとり取り残さない社会づくり」に貢献する取り組みを行っていきます。



「一斉休校を全国に要請する」。突如発せられた安倍総理の言葉に、学校現場などが混乱した。『政治判断』で3学期が打ち切られ、卒業式も大幅に変更させられた。一斉休校まで日がない中、親は、「子どもの預け場所は。仕事はどうする。学童や給食は」と慌てた。ただ、一番の被害者は子どもたちだった。楽しみにしていた、卒業演奏会や遠足、卒業式や終業式などイベントは縮小・中止となり、学びや部活、遊べる場を失った。当時、子どもの感染は稀で、感染者の

出てない県もあり、社会的影響は大きかった▶あれから3年経ち、マスク着用は個人判断となり、5月から季節性インフルエンザと同じ「5類」へ移行する。だが、今でも、当時の『政治判断』は検証できていない。「あの時は仕方がなかった」ではなく、「正しかったのか」を明らかにすべきだ▶パンデミック中、大人から様々な制限が加えられたことを思えば、今後、子どもたちが自由に行動できる環境をつくるべきだろう。それにしても、笑顔あふれ、校歌が歌える入学式・始業式が返ってきた。新たなスタート、GWも間近だ。



九州労働金庫2023年度人事異動 「よろしくお願ひします!!」

氏名	新所属名	旧所属名	氏名	新所属名	旧所属名
【県本部関係】					
浅井 直人	鹿児島県本部副本部長	鹿児島支店支店長	窪 治子	鹿児島南支店係長	加世田支店係長
鮫島 剛	鹿児島県本部業務推進課課長	鹿児島支店次長	村山 志保	鹿児島南支店	鹿児島支店
吉満 勝	鹿児島県本部業務推進課再雇用嘱託職員(エキスパート職員)	川内支店再雇用嘱託職員	窪 光仁	霧島支店支店長	志布志支店支店長
重久 政弘	鹿児島県本部業務推進課再雇用嘱託職員(エキスパート職員)	業務部業務課(鹿児島地区センター)再雇用嘱託職員(エキスパート職員)	野崎 みどり	霧島支店次長	霧島支店専任役
斎之平 和伸	鹿児島県本部業務推進課再雇用嘱託職員(エキスパート職員)	鹿児島県本部副本部長	海老原 聖也	霧島支店係長	水俣支店係長
米重 裕志	鹿児島県本部業務推進課再雇用嘱託職員	鹿児島県庁支店専任役	森田 健嗣	霧島支店係長	鹿児島支店係長
辻村 サナ枝	鹿児島支店支店長	大島支店支店長	斑目 美由紀	霧島支店	鹿児島支店
今別府 知美	鹿児島支店次長	大口支店次長	田代 咲子	霧島支店	鹿児島県庁支店
大江 慎一	鹿児島支店次長	霧島支店次長	安井 沙織	霧島支店	大島支店
新徳 徹	鹿児島支店係長	霧島支店係長	平原 清隆	霧島支店再雇用嘱託職員	鹿児島県本部業務推進課再雇用嘱託職員(エキスパート職員)
久永 知子	鹿児島支店	鹿児島南支店	諏訪 貴之	種子島支店支店長	種子島支店次長
永吉 麻由	鹿児島支店	霧島支店	和泉 貴之	種子島支店次長	鹿児島支店次長
上西 健二	鹿児島支店再雇用嘱託職員	霧島支店再雇用嘱託職員	毛利 さくら	種子島支店	新規採用
赤星 逸郎	大島支店支店長	霧島支店支店長	上脇 基寛	志布志支店支店長	鹿児島県本部業務推進課課長
山地 裕也	大島支店係長	鹿屋支店係長	西 大郎	志布志支店係長	鹿屋支店係長
高口 陸	大島支店	新規採用	北原 ひとみ	志布志支店	宮崎支店
春成 耕一	鹿屋支店支店長	川内支店支店長	岩坪 憲吾	大口支店次長	行橋支店係長
入部 久義	鹿屋支店係長	大口支店係長	井手 健太	大口支店係長	志布志支店係長
小村 あつき	鹿屋支店係長	霧島支店	村岡 美佳	大口支店	人吉支店
中島 史翔	鹿屋支店	新規採用	桜 優一郎	徳之島支店支店長	出水支店支店長
出口 美孝	川内支店支店長	鹿屋支店支店長	川畠 亜沙美	徳之島支店次長	徳之島支店係長
中崎 あかね	川内支店係長	川内支店	有馬 博文	徳之島支店係長	川内支店
藤丸 泰輔	川内支店	北九州東支店	久保 龍之介	徳之島支店	新規採用
淀川 真央	川内支店	鹿児島支店	鶴田 詠子	鹿児島県庁支店係長	鹿児島支店
五嶋 哲也	川内支店	鹿児島支店	上鶴 純	鹿児島県庁支店	志布志支店
吉嶺 宗高	加世田支店支店長	融資部債権管理課課長	【統括部】		
大原 千春	加世田支店係長	鹿児島南支店係長	平野 忍	監査部営業店監査グループ次席監査役	徳之島支店支店長
高木 政則	加世田支店	鹿屋支店	坂口 和俊	事業部福祉金融推進課副課長	徳之島支店次長
阿久根 千穂	加世田支店	鹿児島南支店	【県外店舗】		
坂之上 いずみ	出水支店支店長	種子島支店支店長	辰本 憲昭	臼杵支店支店長	加世田支店支店長
前田 龍星	出水支店	新規採用	上野 沙弥	行橋支店係長	大島支店
濱平 美和子	鹿児島南支店係長	川内支店係長	吉川 瑞姫	長崎支店	種子島支店

「ローンセンターかごしま」ゴールデンウィーク期間中の営業に関するお知らせ

ゴールデンウィーク期間中のローンセンターの営業につきましては、右記のとおりとさせていただきますので、ご案内いたします。みなさまにはご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解賜りまますようお願い申し上げます。

日付	営業状況
4月28日(金)	営業
4月29日(土)(昭和の日)	休業
4月30日(日)	営業
5月1日(月)	営業
5月2日(火)	営業
5月3日(水)(憲法記念日)	休業
5月4日(木)(みどりの日)	休業
5月5日(金)(こどもの日)	休業
5月6日(土)	休業
5月7日(日)	営業
5月8日(月)	営業

*ローンセンター鹿児島 ☎ 099-239-1320

第19回九州ろうきん「NPO助成」助成団体決定のお知らせ

九州ろうきんが社会貢献活動の一環として取り組んでいる「NPO助成」は今回で19回目を迎え、九州各地から135団体の応募がありました。助成団体の選考につきましては、各地区審査委員会の選考を経て、59団体への助成が決定し、総額1,260万円を贈呈しました。

なお、鹿児島地区では、22団体から応募があり、1月18日に開催された審査委員会において8団体への助成が決定しました。その後、2月18日に、3年ぶりとなる「NPO助成フォーラム」を開催し、総額170万円を贈呈しました。鹿児島地区の助成団体につきましては、以下をご覧ください。

第19回 九州ろうきんNPO助成団体一覧

※応募総数(22)団体

	3年間 継続助成	助成団体名	支援内容	助成 金額
1	○	特定非営利活動法人 かのやコミュニティ放送	・講演会を毎年開催(大隅半島の陸と海の豊かさ) ・ワークショップを毎年3回開催(海・山・川・火山・畑の学校)	30万円
2		喜入マナビバプロジェクト つわぶき	・定期テスト前自習室 ・学習イベント開催	13万円
3		特定非営利活動法人 心音	・子ども食堂ネットワーク設立 ・子ども食堂開催	20万円
4		子ども食堂を考える、 指宿有志の会	・ひとり親家庭交流会 ・フードパンtry活動の拡大と充実	20万円
5		特定非営利活動法人 こどもエンカレッジアート	・アンケート調査によるヤングケアラーの実態調査 ・ヤングケアラーの支援の啓発活動 ・支援ネットワークの組成	30万円
6		特定非営利活動法人 やどかりサポート鹿児島	・支え合いを生むための交流会開催、 LINEグループによる安否確認の実現	20万円
7		かごしま膠原病の会 (青空の会)	・膠原病の医療講演会の開催	17万円
8		NPO法人 フリースクール MINE	・ボードゲーム交流会の開催	20万円
合計				170万円

ろうきんアプリ「お役立ち情報」のお知らせ

ろうきんアプリ内の「お役立ち情報」では、(ろうきん)のご紹介やマネーライフプランニングに役立つ情報を掲載しています。

2月13日より、新たに以下のコンテンツを掲載いたしましたので、ご家族とお金について考えてみてはいかがでしょうか。

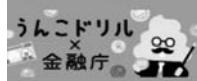
① うんこお金ドリル

i) 概要

うんこお金ドリルは、金融庁がインターネットでお金について楽しく学べる小学生向けコンテンツとして公表されており、家庭内の金融教育に活用いただくことを目的としています。

ii) 外部URL <https://unkogakuen.com/manabi/money>

iii) バナー



② <ろうきん>と考える相続

i) 概要

高齢者取引推進を目的として、相続に関する基礎知識や一般的な手続きの流れを説明する業態統一のWebサイトです。

※本ホームページは、2022年4月時点の法令にもとづいて掲載しています。

ii) 外部URL

<https://www.rokinren.com/souzoku-support/>

iii) バナー



「言いたい劇場」 小菅りや子



「タオルでつなぐ支え合いの輪」
タオル一本運動を展開します。—労福協・連合—

鹿児島県労福協ならびに地域労福協は、昨年に引き続き連合鹿児島と継続できる地域のためになる・参加しやすい社会参加型の取り組みとして、「タオル一本運動」を展開していくこととしました。具体的には、各地域で開催予定のメニューに「未使用のタオル」を持ち寄り、高齢者・介護施設等に寄付していくこととしています。多くのご参加ご協力をお願いします。

転入 2023年4月 人事異動のお知らせ



九州統括本部
団体推進統括課から異動
野間 大輔
(事業推進部
事業推進課長)

4月より鹿児島推進本部に配属となりました野間と申します。

5年ぶりの鹿児島勤務となります。
組合員の皆さまのお役に立てるよう努めますので、
今後ともよろしくお願ひいたします。



新入職員
伊東 瑞貴
(ぐりんぼう鹿児島
地域推進課)

4月より鹿児島推進本部に配属となりました伊東と申します。

出身地は兵庫県で、今回初めての鹿児島生活となります。

組合員の皆さまのお役に立てるよう一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



お知らせ

ゴールデンウィーク期間中の営業について

ゴールデンウィーク期間中における共済ショップぐりんぼう各店の営業は右記のとおりとさせていただきます。

皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

なお、自動車事故に遭われたときのご連絡窓口「マイカー共済事故受付ダイヤル」と住宅災害に遭われたときのご連絡窓口「住宅損害受付センター」は、ゴールデンウィークも休まず24時間受け付けいたします。

＼4月も店舗キャンペーン実施中です！／



	鹿児島店	鹿屋店	奄美店
4月29日(土) 祝日		全店休業	
4月30日(日)		全店休業	
5月1日(月)			全店通常営業
5月2日(火)			
5月3日(水)			
5月4日(木)		全店休業	
5月5日(金)			
5月6日(土)	営業 [営業時間] 10:00 ~17:00	休業	休業

報告

交通安全教室・寄贈式を開催しました！ 「鹿児島県私立幼稚園協会」へ横断旗735本などを寄贈

こくみん共済 coop は、3月2日(木)認定こども園かつめこども園(南九州市)で、園児向けの交通安全教室と横断旗などの寄贈式を行いました。

交通安全教室は、鹿児島県交通安全協会のご協力のもとに行われ、卒園を控えた15名の園児が、横断歩道の渡り方や事故に遭わないための注意点などを学びました。

その後寄贈式が行われ、こくみん共済 coop 鹿児島推進本部より鹿児島県私立幼稚園協会へ横断旗735本、なわとび80本、長縄とび104本、ドッジボール35個を寄贈しました。これらは県内の私立幼稚園147園に贈られ、子どもの交通安全などに活用されます。

今回の取り組みは、こくみん共済 coop が社会貢献活動として2019年3月から取り組んでいる「7才の交通安全プロジェクト」の一環として実施しました。

7才児は小学校に入学し、行動範囲がぐっと広がる年齢ですが、注意力があまり育まれていないため、他の年代に比べて交通事故に遭いやすいというデータがあります。

こうした7才児を中心に、「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」という想いから、マイカー共済の見積もり1件につき横断旗を1本寄贈する「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。



▲ 寄贈式の様子



▲ 実際に横断歩道を渡る練習も行いました！

鹿児島県私立幼稚園協会への寄贈物

- 横断旗 735本
- なわとび 80本
- 長縄とび 104本
- ドッジボール 35個



<7才の交通安全プロジェクト>
吉野東小学校で寄贈式を行いました

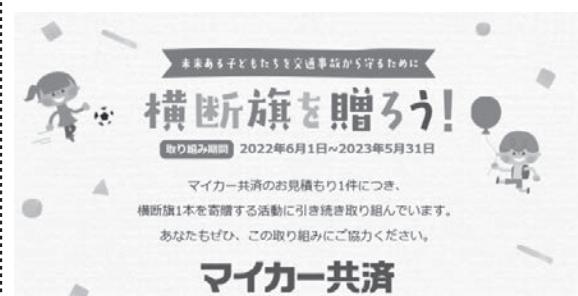
小学校でも活動の輪を広げています！

<7才の交通安全プロジェクト>の一環として、鹿児島市小学校PTAを通じて全11校に3,826本の横断旗を寄贈しました。

3月7日(火)、代表して鹿児島市立吉野東小学校にて横断旗の寄贈式を行いました。寄贈した横断旗は新入生の見守り活動などに活用されます。



7才の交通安全プロジェクト



＼マイカー共済について／



平和の集い～ロシアとウクライナの関係について理解を深める～ 北薩地域労福協

連合北薩地協女性委員会と北薩地域労福協は2月11日(土)、SSプラザせんだいで「平和のつどい」を開催し21名が参加しました。

今回は、鹿教組北薩地区支部前支部長の田中早人さんが、ロシア軍のウクライナ侵攻から約1年が経過したことを受け、「なぜロシアはウクライナに侵攻したのか」「これに対してなぜウクライナは徹底抗戦しているのか」「安保3文書の改定とは何か」の3つのテーマについて、これまでの経緯と現状、両国の歴史や課題などの詳細について講演を行いました。田中さんは、ロシアのプーチン氏の思想やウクライナの悲惨な過去の歴史による国民感情などを基に、この状況が続いている理由を分かりやすく説明。併せて、日本の安保3文書の改定も非常に危険だと訴えました。講演後の質疑応答では、多くの参加者から質問や意見、感想などが出され、平和の尊さを考える貴重な時間になりました。

いちき串木野の歴史を学ぶ 労金川内支店推進委員会・北薩地域労福協

労金川内支店推進委員会と北薩地域労福協は2月18日(土)、いちき串木野市で「歴史探訪」を開催しました。コロナ禍の影響で久しぶりの開催となり、同市の歴史を巡る日帰りバスツアーに53名が参加しました。参加者は2班に分かれて乗車し、バスの中で労金の商品説明などを受けながら、それぞれ薩摩藩英国留学生記念館とちかび展示館を見学しました。薩摩藩英国留学生記念館ではガイドの方から、「なぜ薩摩と英国が戦うことになったのか」「留学(密航)の人選」「この地『羽島』が選ばれた理由」「留学生のその後」などを分かりやすく丁寧に説明してもらいました。当時の若き(13~32歳)藩士の覚悟や業績を知ることができました。ちかび展示館では石油備蓄の必要性などについて、薩摩金山蔵(旧ゴールドパーク)では鉱山跡にトロッコで入り、当時の作業の様子なども学ぶことができ、いちき串木野の歴史を学ぶ楽しい1日となりました。



当時の藩士の覚悟や業績を感じ取りました

介護教室、フラワーアレンジメント教室を開催 熊毛地域労福協



力作が揃いました！(*^*) v

高齢者支援課地域包括支援センターの職員が、要介護認定の流れや認定の基準、介護サービスを利用するまでの流れなど介護保険制度における要介護認定の仕組みについて説明を行いました。

後半は健康運動指導士が、自宅や職場でもできる運動を紹介した実技も行いました。誰でもできるゆっくりとした動作で、参加者は継続することで要介護状態に陥るのを防ぐことができ、筋力と体力の向上にもつながることを実感していました。

また、3月4日(土)には西之表市民会館でフラワーアレンジメント教室を開催しました。

講師にフラワーショップ irodoriの大平真央さんを招き、16名の参加者がプリザーブドフラワーを使ったフラワーアレンジメントに挑戦しました。

生花の一番美しい時季に色素を抜き取り、特殊な加工を施したプリザーブドフラワーは、枯れることがなく水やりの必要もないことが大きな特徴です。参加者はまず、大平さんに教えてもらいながら、ひたすらプリザーブドフラワーにワイヤリングを施す作業に取り組みました。途中で花がちぎれたり、枝が折れたりする人もいましたが、大平さんの丁寧な指導を受けて、オアシスにワイヤリングした花を入れ込んでいく段階では皆笑顔で楽しそうに作業を進め、きれいな作品を次々と仕上げていました。

最後の記念撮影では、「寝るときも手元に置いてみたい」「今後もこのような教室を開いてもらいたい」などの感想が聞かれました。

介護教室「スローストレッチ＆脳トレ」を開催 姶良伊佐地域労福協

姶良伊佐地域労福協は3月9日(木)、隼人教育会館で健康生きがいづくりアドバイザーの下田陽子さんによる介護教室「スローストレッチ＆脳トレ」を開催し31名が参加しました。

教室で参加者は「健康寿命のカギはフレイル対策にあり」をテーマに加齢により心身が衰えていく状態「フレイル」の兆候に早めに気付いて対策をとることが大事で、普段から、栄養・体力・社会参加の3つの「元気の素」を意識して生活することが重要だと説明を受けました。

実技の「レッツ体操」では、ふくらはぎや太もも、腕のストレッチの後、動脈のマッサージも行われ、参加者は指先をはじめ、腕や肩、頭など9カ所のマッサージを学びました。

最後は「脳トレ」で数字を組み合わせるパズルが行われ「できた！できない！」と苦戦しながらも楽しい様子で笑い声も聞かれ、好評のうちに終了しました。



ストレッチの様子

2023年4月15日

気持ちがもやもやして、自分がどうしたいのかわからぬ、自分がどんな気持ちなのかわからぬ、ということはありませんか？思つたことを言えない環境はつらいものです。自分が安全でないとき、人は感情を隠します。例えば不機嫌な顔を見せると、もっと怒られた。泣くと、嫌そうな顔をされた。笑つてうれしそうにしていると、「調子に乗つている」とばかにされたり笑われたり……。

そんな経験があると、人は自分自身のありのま

セルフコンパッション でうまくいく！

臨床心理士 山藤奈穂子

④本当の自分の気持ち

首が詰まる感じ、お腹が重い、頭がぐるぐるする、などです。次にその部位に手を当てます。もし、その部位が話せるしたら、何とどうか考へてみます。「あ～、しつくりくる」と全身で感じられる言葉を探してみましょう。

体は頭以上に多くのことに気づいています。その訴えに耳を澄ますこと、自分からの願いや、本当は傷ついていること、心の底に隠した真の感情に気づくことが、最高のセルフコンパッションなのです。

まの感情を感じられなくなります。自分の本当の感情がわからなくなると、心がもやします。自分がどうしたいのかわからなくなります。なぜなら、ありのままの感情こそが、「自分はこうしたら幸せなんだ。こうされると嫌で傷つくんだ」ということを教えてくれる羅針盤だからです。

本当の感情を取り戻すにはこんな方法があります。まず、もやもやしている感じがする体の部位を特定します。胸の辺りが苦しい、

本日の感情を取り戻すにはこんな方法があります。まず、もやもやしている感じがする体の部位を特定します。胸の辺りが苦しい、

声から読む者

285

物価値上げや政治の不安状況がある中で、労福協に集う仲間の力強い取り組みに元気が出ます。今後とも働く仲間の力を結集してくださるとありがたいです。（南さつま市）

労福協によりに載っているいろいろなイベントが楽しそうです

ね。コロナ禍でさまざまなイベントがなくなっていますが、今年はイベントがもつとたくさん開催されますように！

（鹿児島市）

ろうきんのATMは、とてもためになつてまーす！ 土日も稼働、最高でーす！！（霧島市）

2月号の4こま漫画に共感しました。今はさまざまなものが出ています。が噴出しているのに、何ら有効な手立てはせずに軍事費を限なく増やすだなんて、國民の方を見てよと言いたい！（あなたはどこの国の首相なのです

「児童健全育成推進財団へ、なわとび・長なわを3万2460本寄贈しました！」の報告を読み感動しました。なわとれについても参考になります。孫二人が夢中でなわとびを楽しんでいます。（霧島市）

ニュースワード

自転車ヘルメット

コロナ禍で利用者が増えた自転車。交通事故全体に占める自転車関連事故の割合が年々増えていることなどを受けて、今年4月から自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されます。

道路交通法のヘルメット着用の努力義務はこれまで、小学生以下の子どもが対象。警察庁の調べでは、自転車事故でヘルメットを着用していない人の致死率は、着用していた人に比べて約2・2倍も高いことがわかりました。

このため、自転車を利用する



際のヘルメット着用によつて、死傷者の大幅減少につながるとみられることから、道交法改正で着用の努力義務を全年齢に拡大することになりました。

